

## ●サンショウウオの生活●

丹沢山地には、ハコネサンショウウオとヒダサンショウウオの2種類がすんでいます。森林の落ち葉の下などに隠れてく  
らしていますが、卵を産む時期になると沢の上流のわき水が出  
ている岩場などを探して卵を産みます。子どもの時代を水中で  
すごして、大人になると陸に上がります。

産卵に適した場所を探して移動する途中、コンクリートのかべなどがあると他の動物に見  
つかりやすくなり、おそわれることが多くなります。

ハコネサンショウウオ



### ！サンショウウオが減っている！！

丹沢山地では、10年前から比べて、ヒダサンショウウオとハコネサンショウウオが減っていることがわかりま  
した。沢の両側の森林の下草が減り、落ち葉や土が流されてしまい、産卵場所や隠れ場所が減ってしまったことが  
原因ではないかと考えられています。

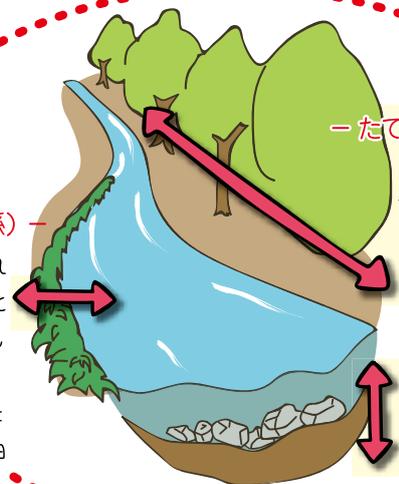
総合調査でわかった丹沢のピンチ

## ●川の3つのつながり●

川の生きものは、「たて（上流、下流、海）・よこ（岸、流れの中心）・上下（川底、水面）」  
の3つのつながりを一生の中でうまく利用してくらしています。この3つのつながりにはい  
ろいろな形があります。そのため、溪流のいろいろな環境を守るとともに、この3つのつな  
がりを分断しないようにすることが大切です。



トンボには、幼虫時代を流れのある瀬で大きくなり、羽化するときは川岸の植物にもどる種がいます。  
魚も餌をとったり、隠れたり、流れの中心と岸とを自由に  
行き来しています。



－たてのつながり(上流、下流、海との関係)－  
アユは、川と海を行き来します。  
一生の中で、産卵場所、生育期、  
などうまく使い分けています。



－上下のつながり(川底と溪流の関係)－  
カワゲラの仲間は、川底にもぐる時期  
があります。